



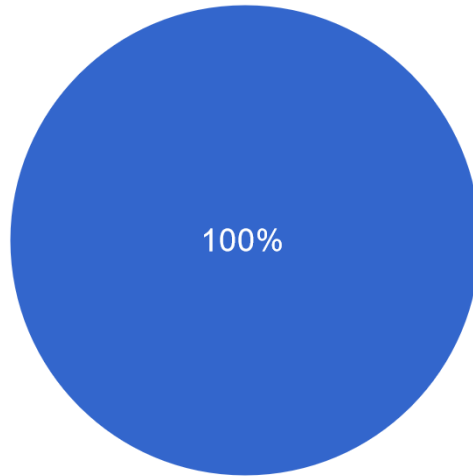
HOKKAIDO
UNIVERSITY

2024年度
福島第一原子力発電所、廃炉資料館
並びにJAEA
アンケート結果

北海道大学・工学研究院
原子力安全先端研究・教育センター

参加者情報(1):性別

性別について
18件の回答



- 男性
- 女性
- 回答しない



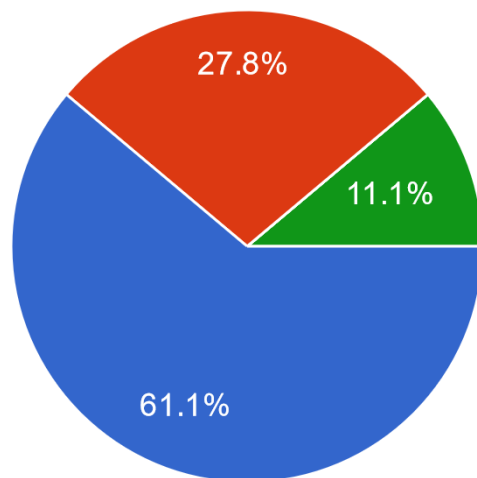
北海道大学理学部物理学科2年
北海道大学農学部生物機能化学科3年次
福島工業高等専門学校機械システム工学科2年
福島工業高等専門学校 電気電子システム工学科2年
福井大学工学部機械システム工学科4年
福井大学_工学部_機械・システム工学科_4年
福井大学/工学部/機械・システム工学科/4年生
富山大学理工学研究科修士一年
東京都市大学理工学部原子力安全工学科2年生
東京都市大学・理工学部・原子力安全工学科・B2
東京都市大学・理工学部・原子力安全工学科・2年
東京都市大学 理工学部 原子力安全工学科 2年
東京大学工学系研究科精密工学D1
島根大学医学部医学科3年
大阪大学文学部人文学科3年
九州大学大学院 総合理工学府 博士2年
九州大学工学部機械工学科3年



参加目的

参加目的（複数回答可能）

18 件の回答



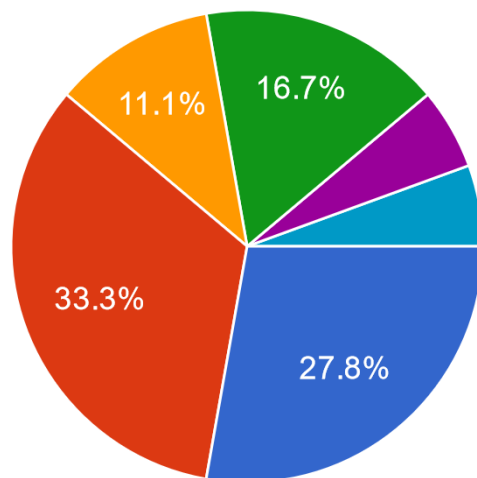
- 実習内容
- 開催地
- 開催時期
- 指導教員からの勧め



認知方法

本実習の実施をどのように知りましたか？（複数回答可）

18件の回答



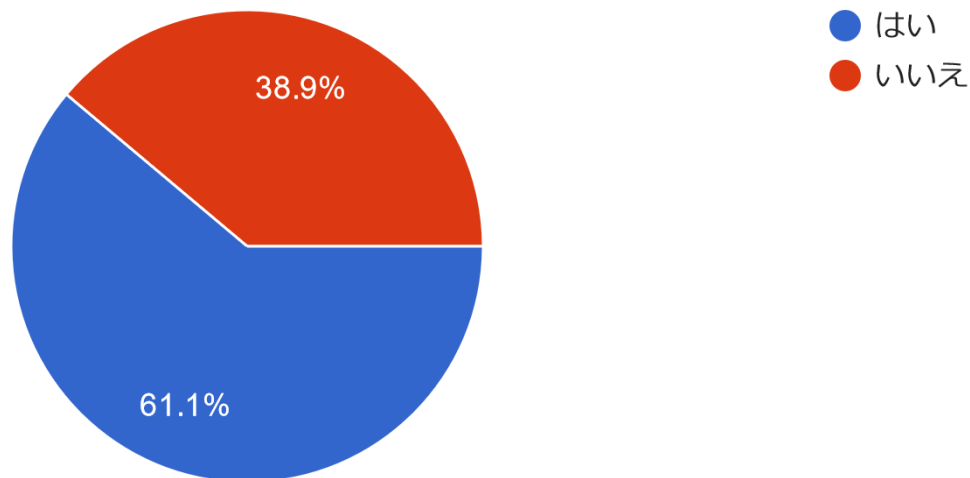
- 大学・職場等への直接連絡
- 知人に聞いて
- 学会等のメーリングリスト
- ホームページ等SNS
- 大学の先生からの転送メール
- 指導教員から教えていただいた



知人勧誘

実習参加の勧誘を他の仲間にも行いましたか？

18件の回答



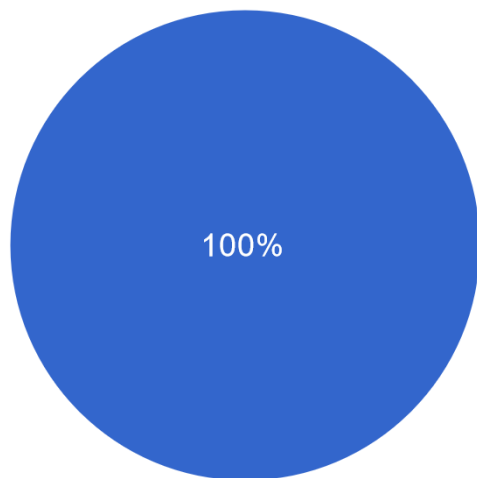
材料系の先生が転送されたメールをみて興味を持った。
学校のミニ研究として研修をすることになり、指導教員から今回の実習を勧めていただいた。



事前手続き

事前案内は適切でしたか？

18 件の回答



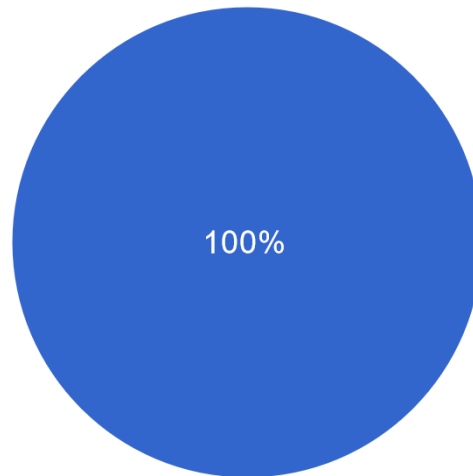
- はい
- いいえ



実習資料(1)

事前学習資料:「1Fバーチャルツアー」について

資料の内容は
18件の回答



- 適切であった
- 改善すべき

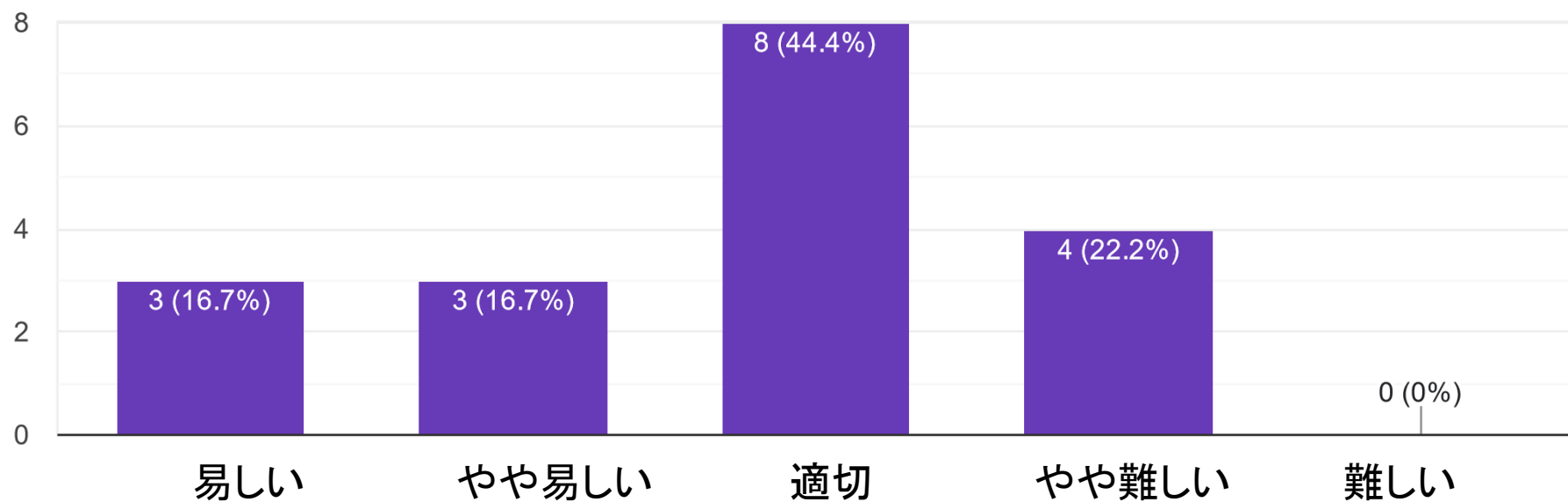


実習資料(2)

事前学習資料:「1Fバーチャルツアー」について

資料の難易度は

18件の回答

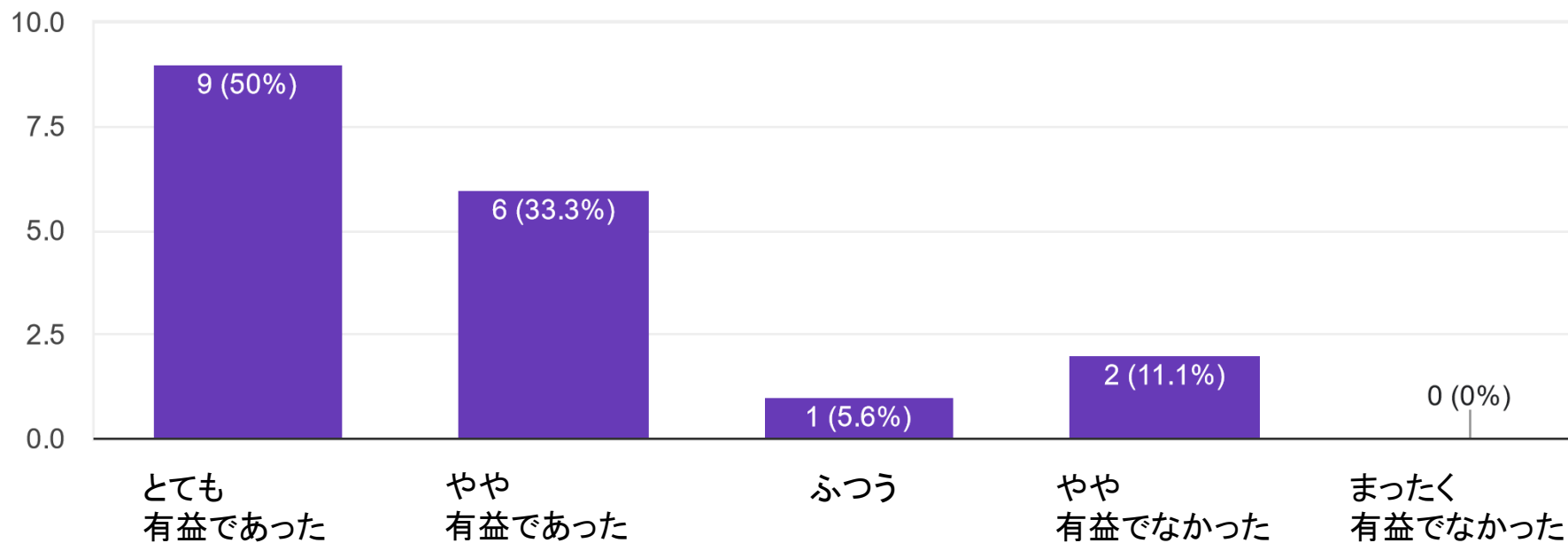


実習資料(3)

事前学習資料:「1Fバーチャルツアー」について

資料の有益度は

18件の回答



実習資料(4)

事前学習資料として、準備して欲しいオンライン講義はありますか？

- NARRECについての講義
- JAEA施設の大まかな概要
- 原子力や放射線と直接関わりのない方も大勢いらっしやっている印象を覚えた。事前資料は廃炉に関することに偏っていると感じたので、基礎的な内容に集中させた教材があっても良いと思った。



専門用語の理解度 (1)

福島第一原子力発電所(以下、「福島第一原発」) 事故の概要について

実習前

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (2)

福島第一原発の事故後の対応について

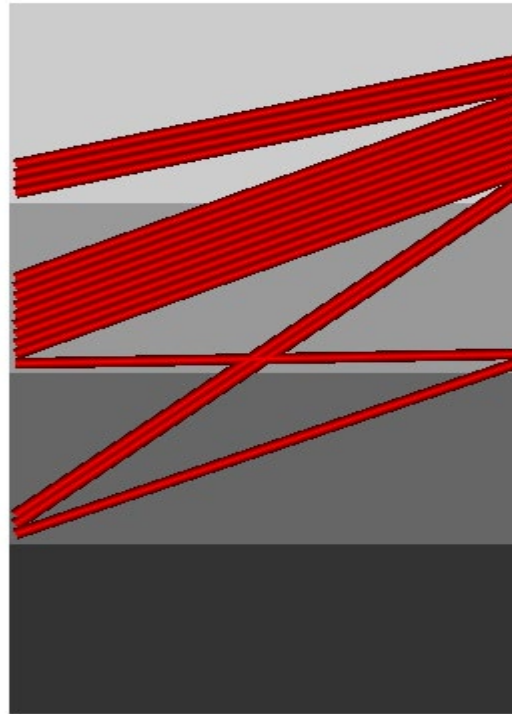
実習前

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (3)

福島第一原発の現場環境の課題について

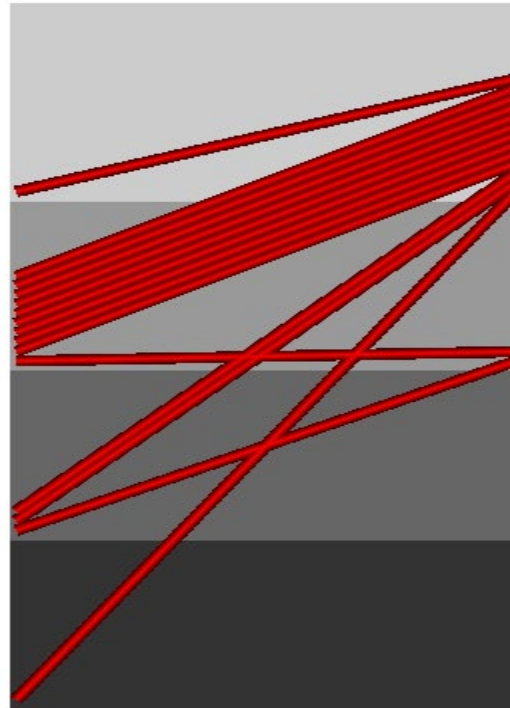
実習前

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (4)

燃料デブリについて

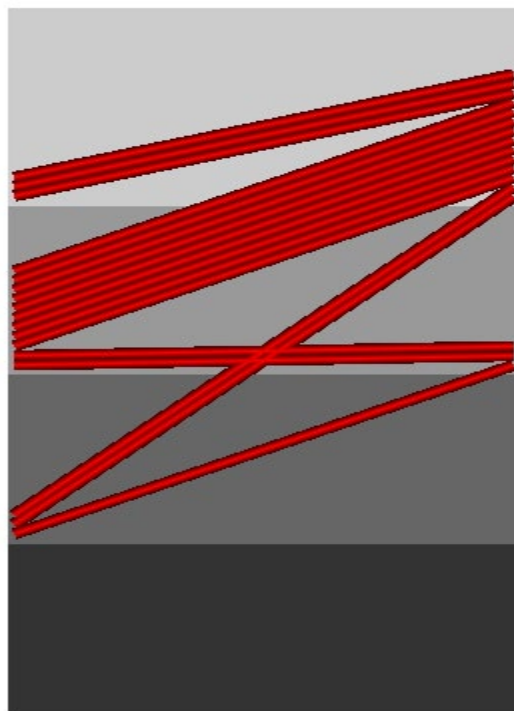
実習前

説明できる

知っている

聞いたことがある

全く知らない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (5)

燃料デブリ取り出しに関わる課題について

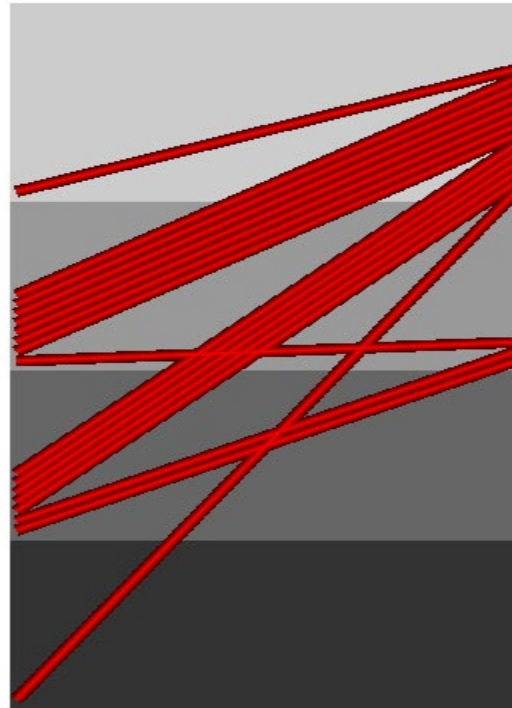
実習前

説明できる

知っている

聞いたことがある

全く知らない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (6)

福島第一原発廃炉作業に関わる遠隔操作ロボットについて

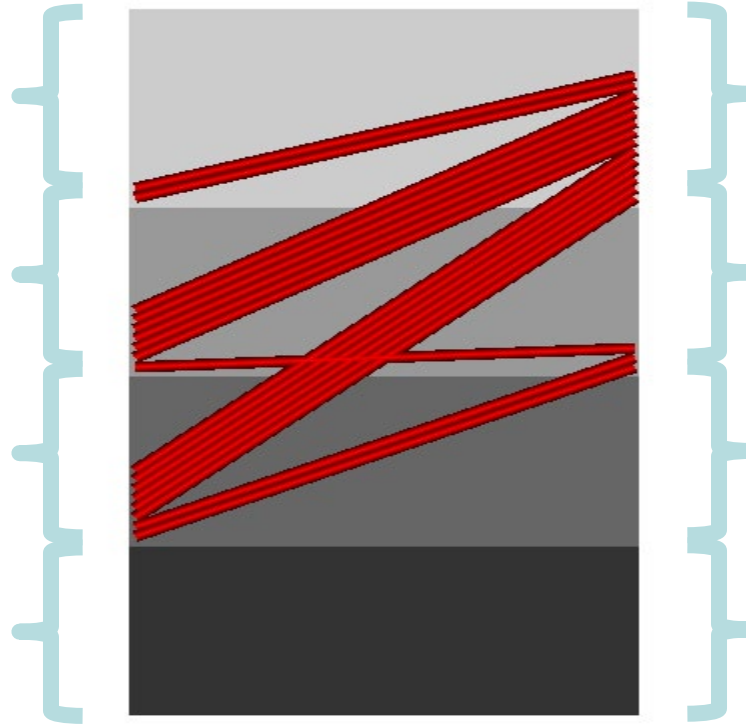
実習前

説明できる

知っている

聞いたことがある

全く知らない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (7)

福島第一原発廃炉作業に関わる分析業務について

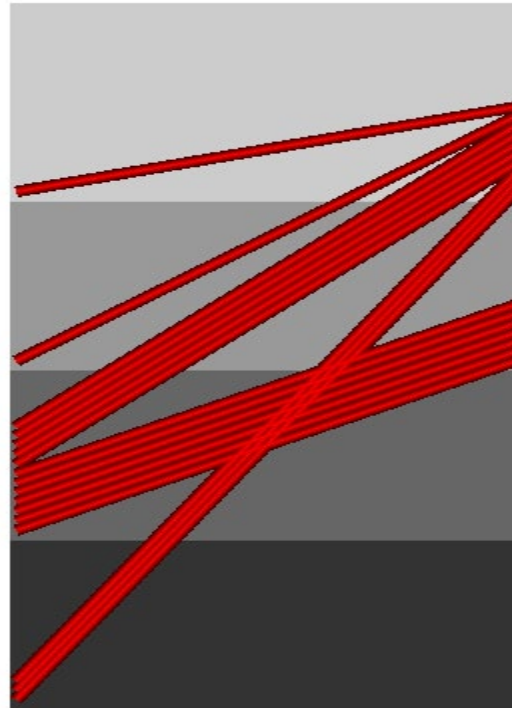
実習前

説明できる

知っている

聞いたことがある

全く知らない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (8)

大熊分析・研究センターについて

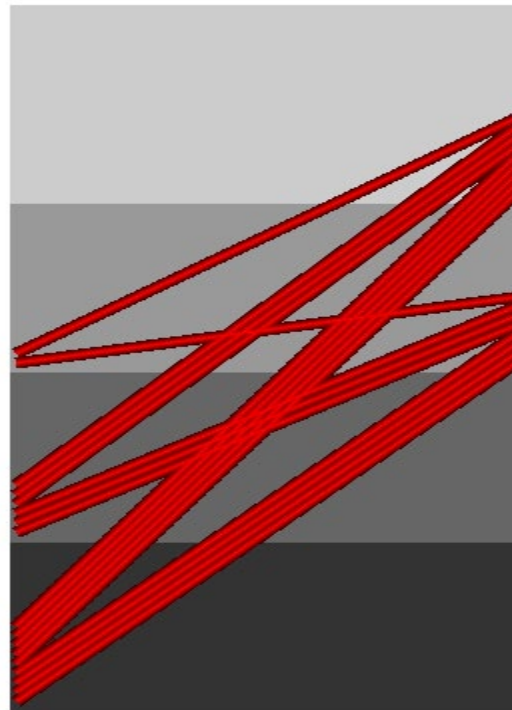
実習前

説明できる

知っている

聞いたことがある

全く知らない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (9)

廃炉環境国際共同センター(CLADS)について

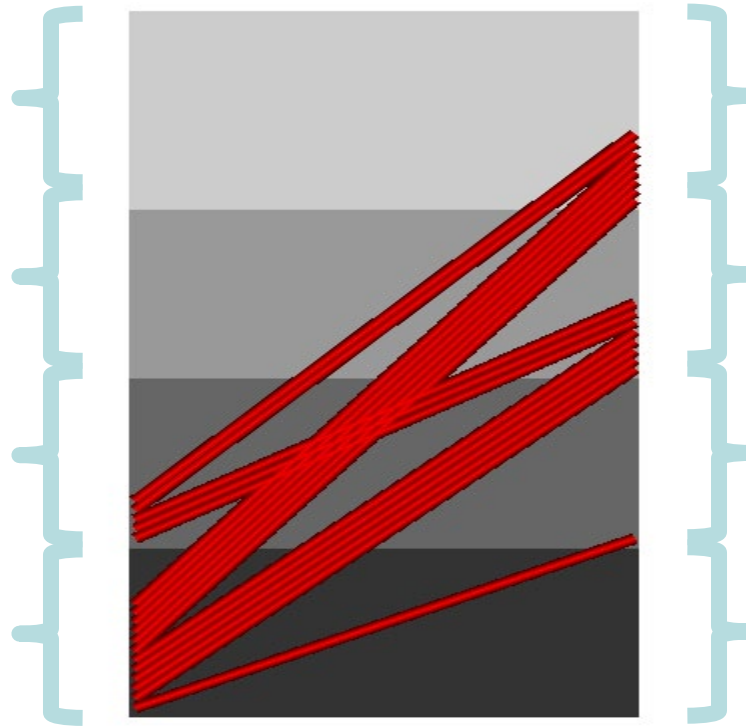
実習前

説明できる

知っている

聞いたことがある

全く知らない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない



専門用語の理解度 (10)

檜葉遠隔技術開発センター(NARREC)について

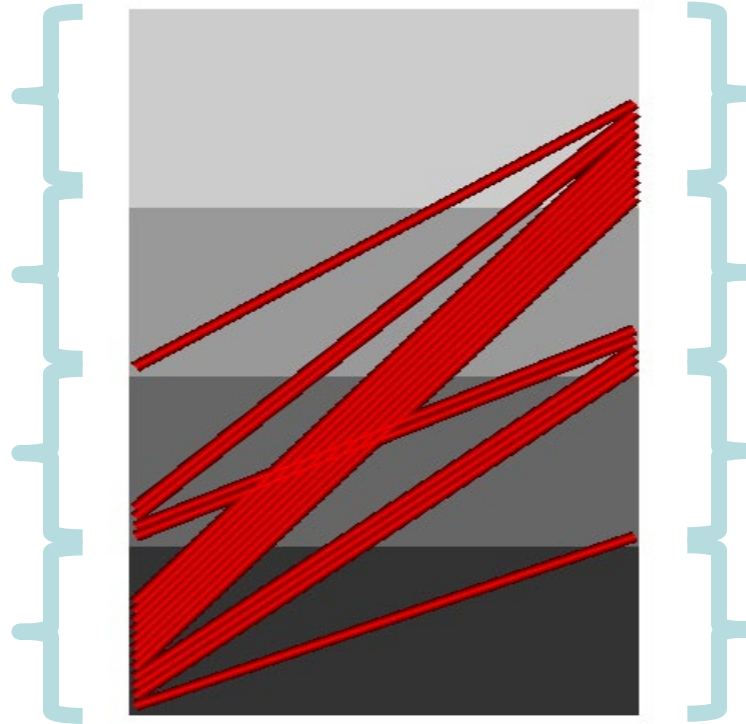
実習前

説明できる

知っている

聞いたことがある

全く知らない



実習後

一通り理解している

部分的には理解している

用語を知っている程度

ほとんど知識がない

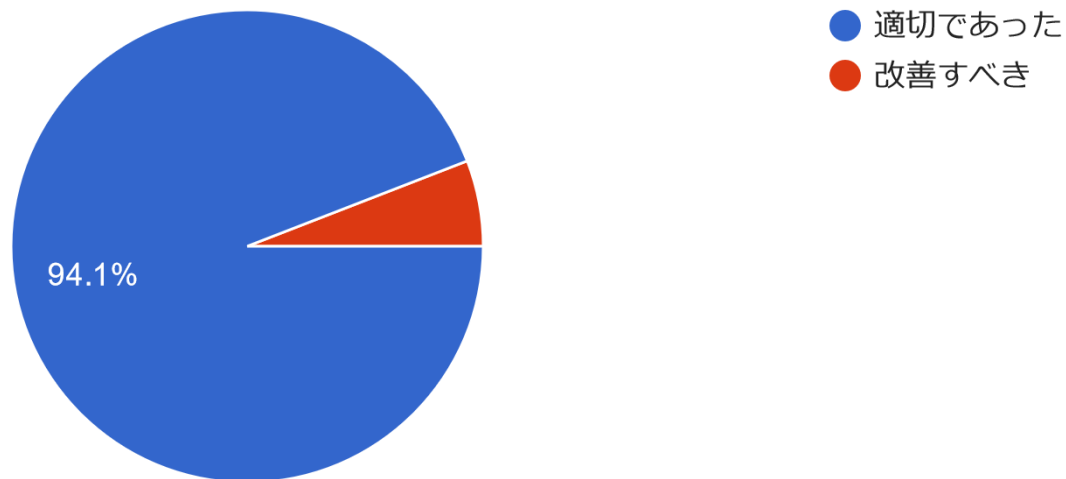


実習全体

廃炉資料館における感想について

見学の内容は

17 件の回答



もう少し時間に余裕が欲しかった

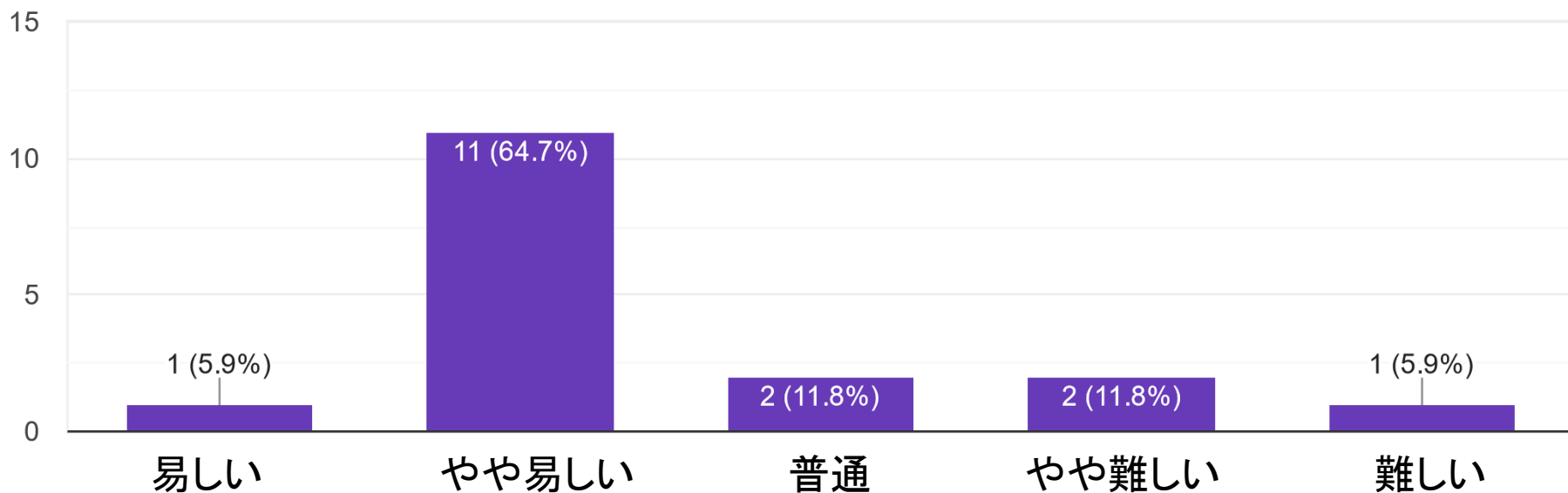


難易度

廃炉資料館における感想について

説明の難易度は

17件の回答

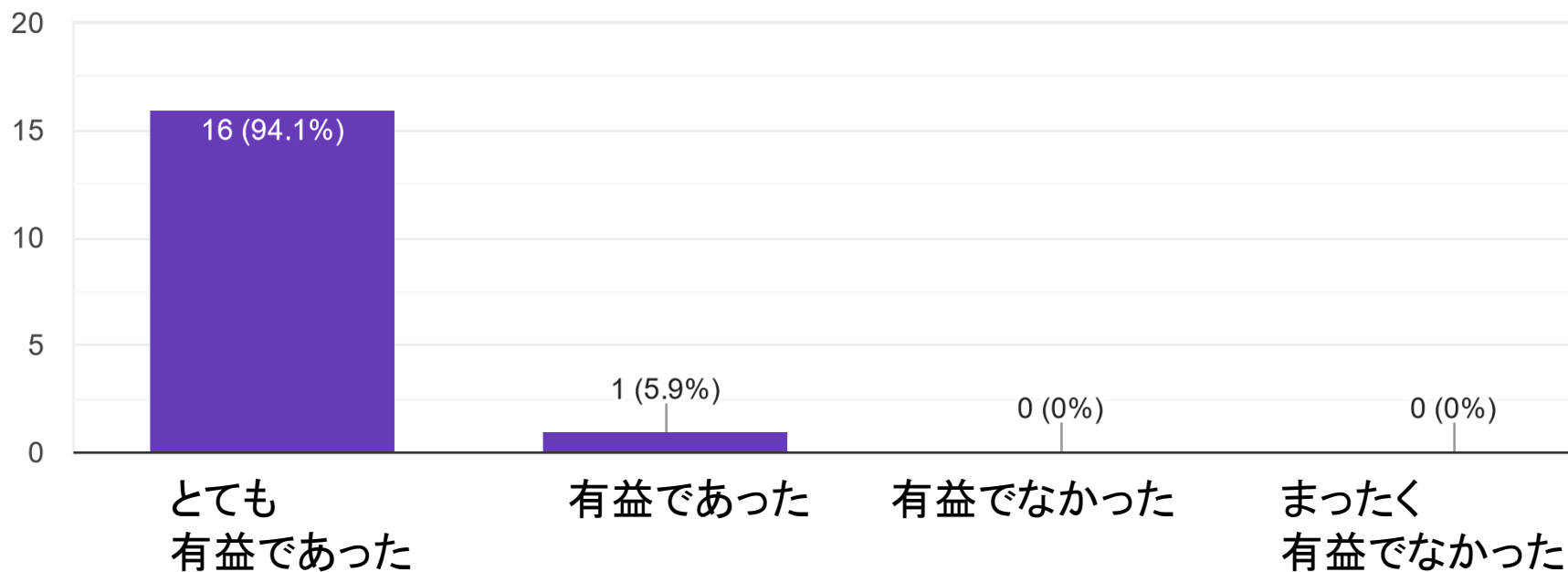


有益度

廃炉資料館における感想について

見学の有益度は

17件の回答

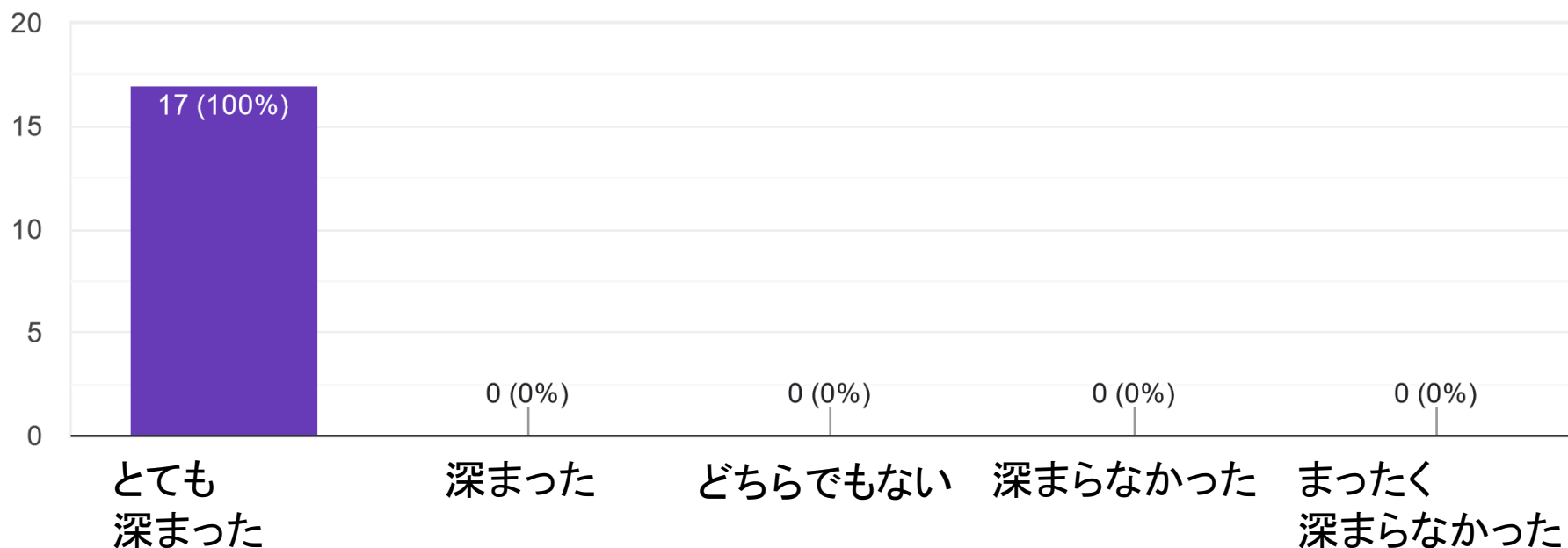


理解度

廃炉資料館における感想について

この見学に参加して、福島第一原子力発電所（以下、「福島第一原発」）
事故等に関する理解が深まりましたか？

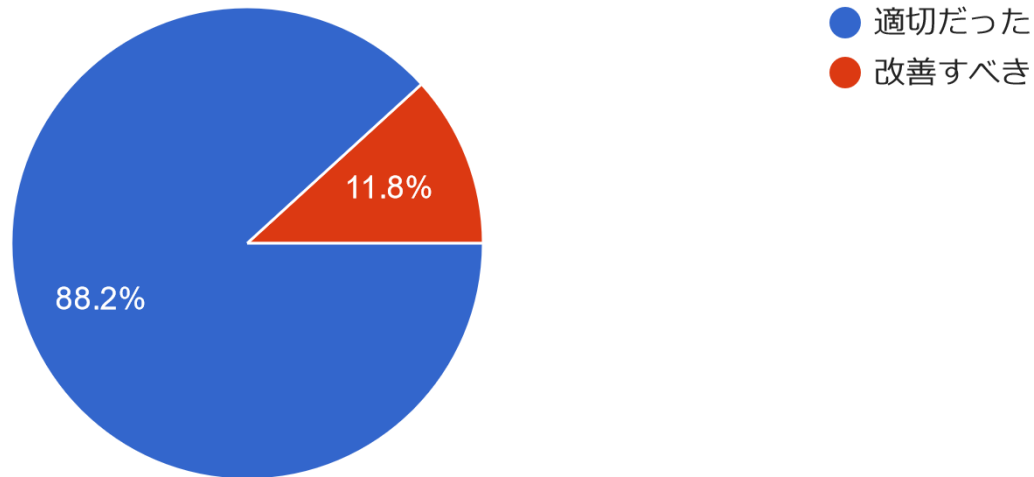
17件の回答



内容

福島第一原発見学における感想について

見学の内容は
17件の回答



トリチウム放出の様子や新たな護岸も確認可能であればなおよかった
5号機や6号機の建屋内や処理水の放出の現場などもみたかった

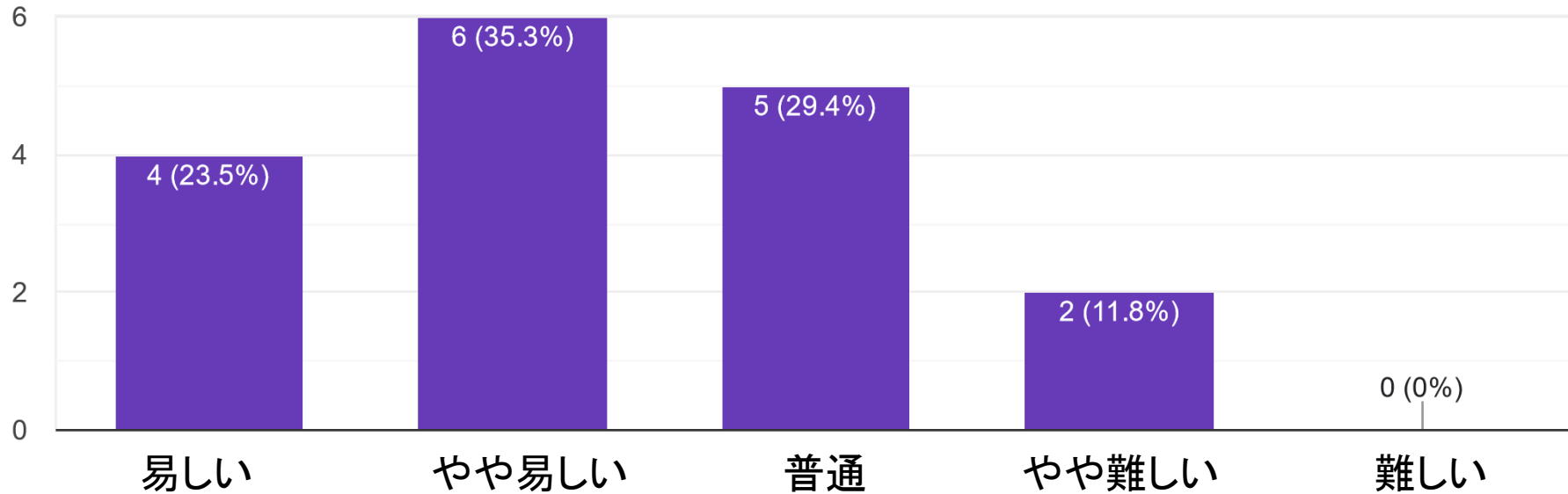


難易度

福島第一原発見学における感想について

説明の難易度は

17件の回答

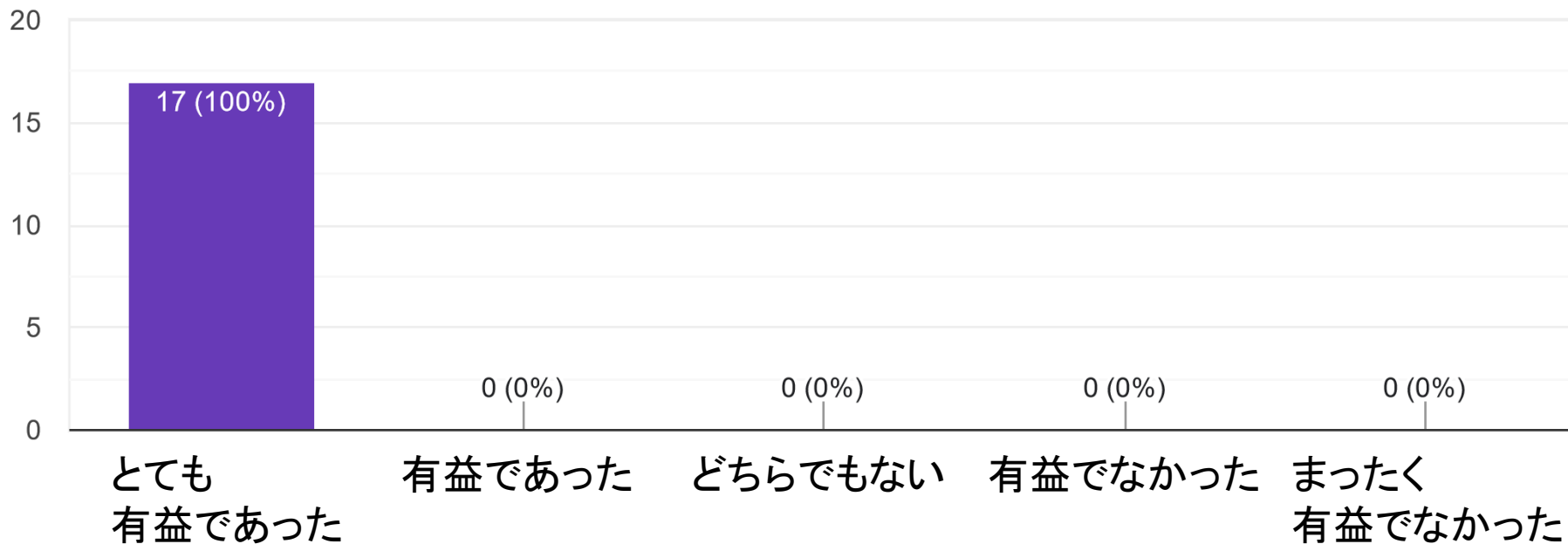


有益度

福島第一原発見学における感想について

見学の有益度は

17件の回答

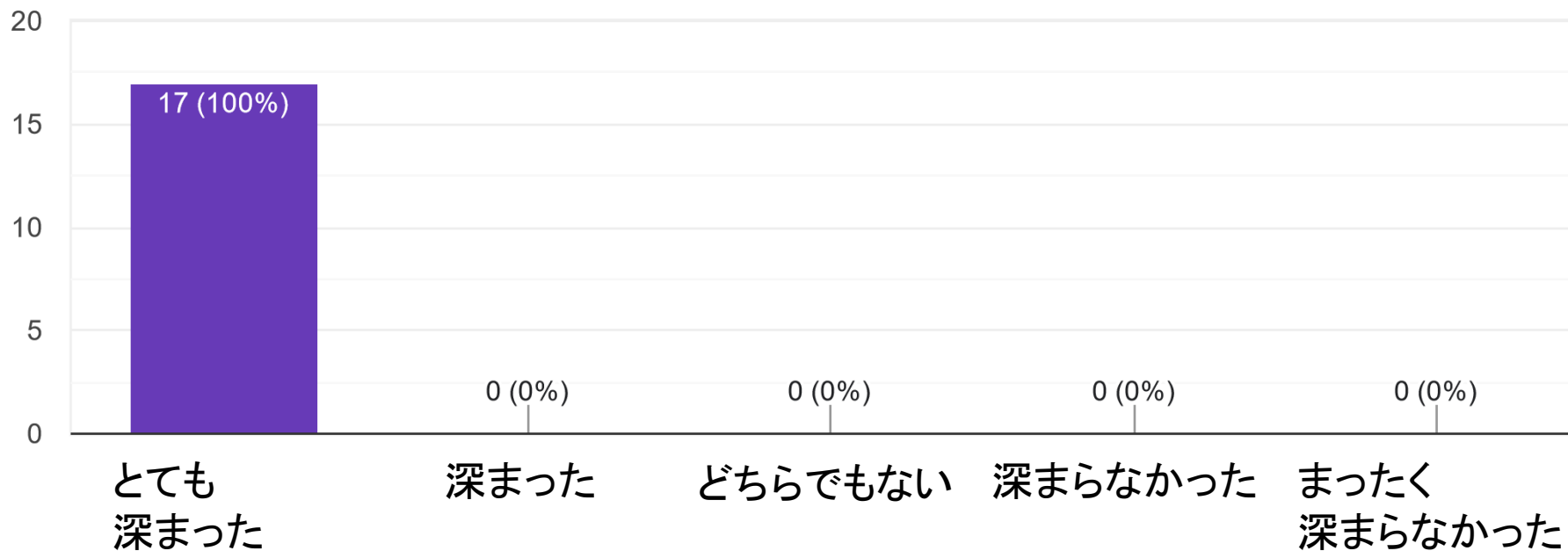


理解度

福島第一原発見学における感想について

この見学に参加して、福島第一原発の現状や廃炉作業に関する理解が深まりましたか？

17件の回答

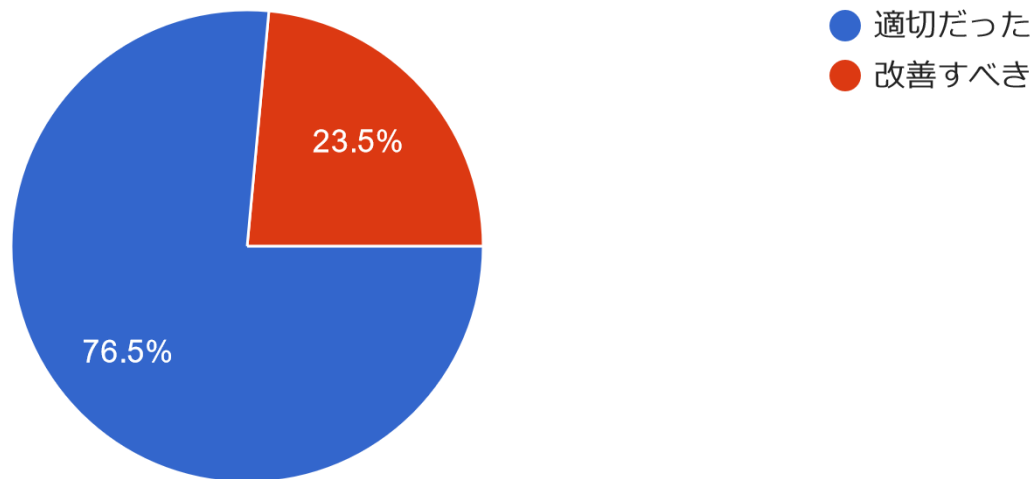


内容

廃炉環境国際共同センター（CLADS）及び櫛葉遠隔技術開発センター（NARREC）における感想について

見学の内容は

17 件の回答



専門的なことを短時間で口頭のみで説明されたので、整理できず質問することが困難であった。CLADSの時間をもう少し取ってゆっくりと説明して欲しかった。駆け足だったので中々追いつくのが大変だった。
もう少しゆっくり見学できればよかったと思う。

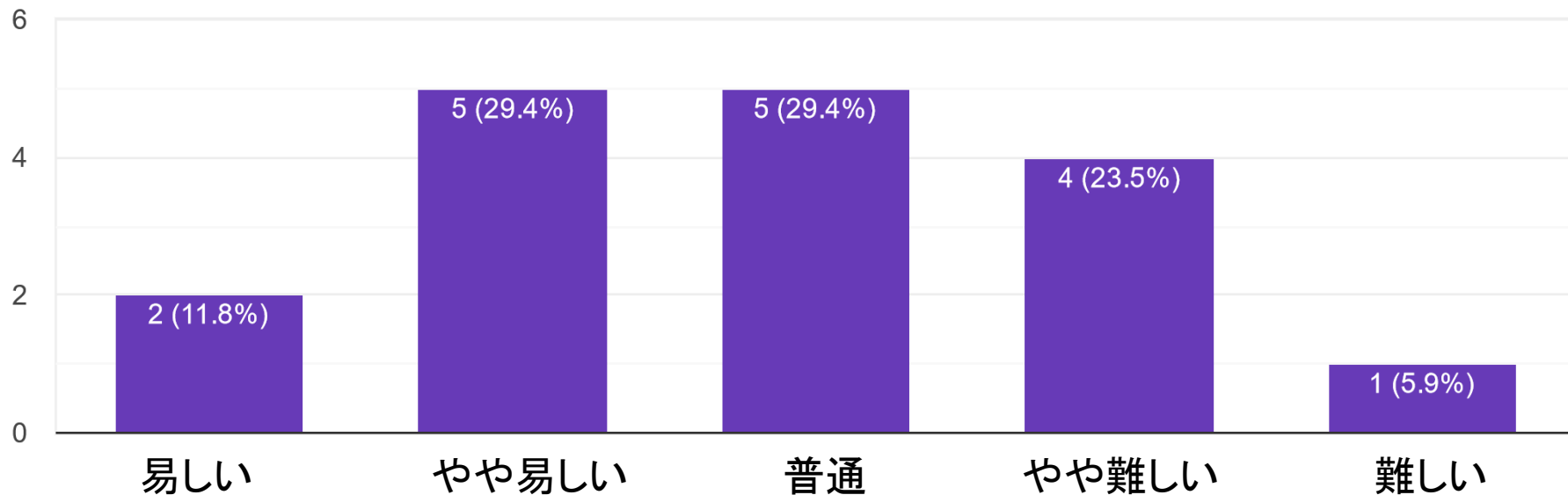


難易度

廃炉環境国際共同センター（CLADS）及び櫛葉遠隔技術開発センター（NARREC）における感想について

説明の難易度は

17件の回答

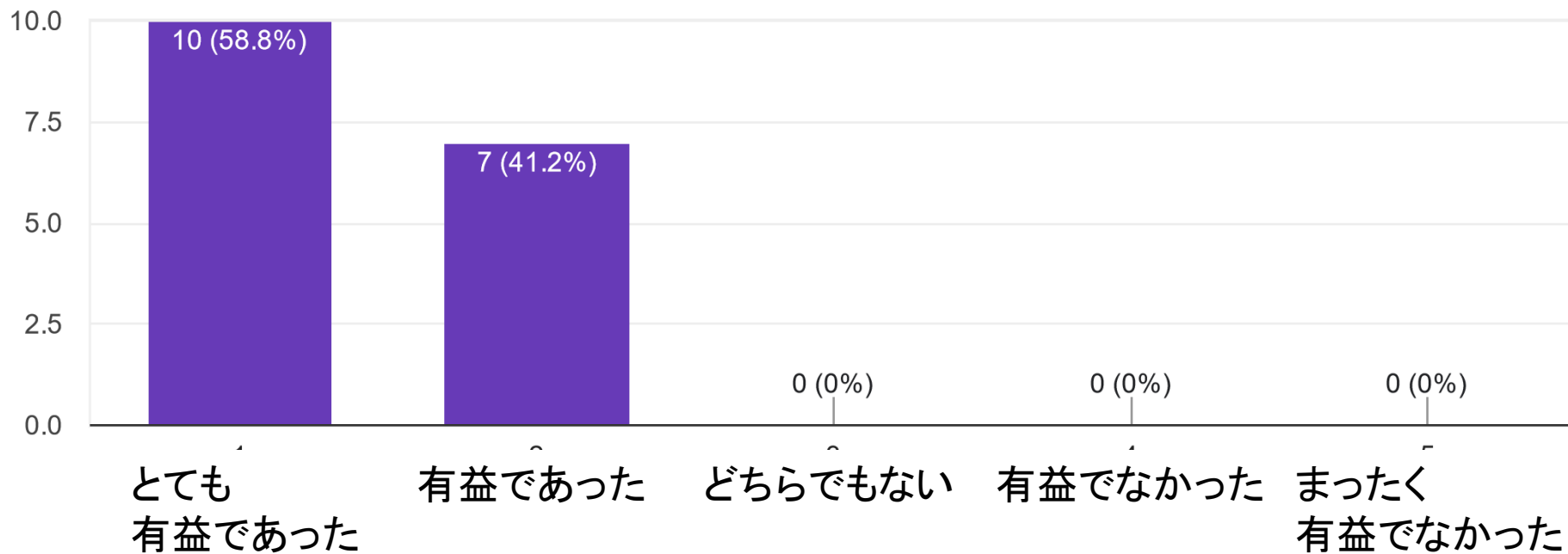


有益度

廃炉環境国際共同センター（CLADS）及び櫛葉遠隔技術開発センター（NARREC）における感想について

見学の有益度は

17件の回答

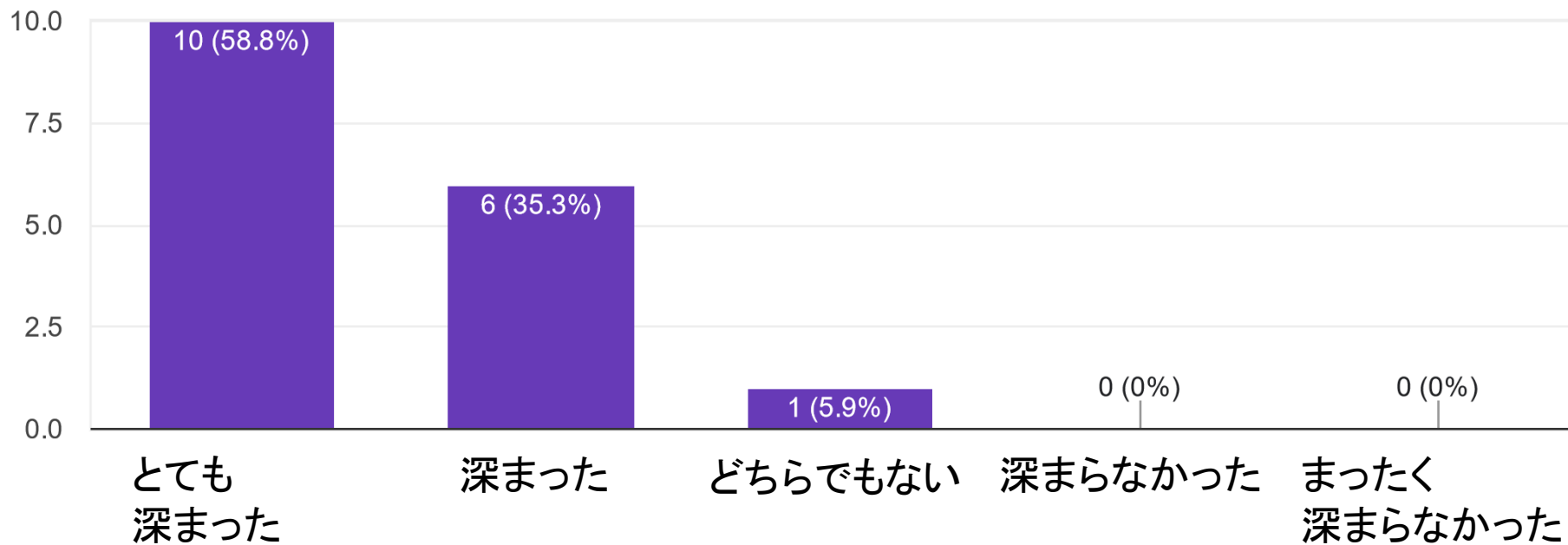


理解度

廃炉環境国際共同センター（CLADS）及び櫛葉遠隔技術開発センター（NARREC）における感想について

この見学に参加して、廃炉作業に向けた研究・開発に関する理解が深まりましたか？

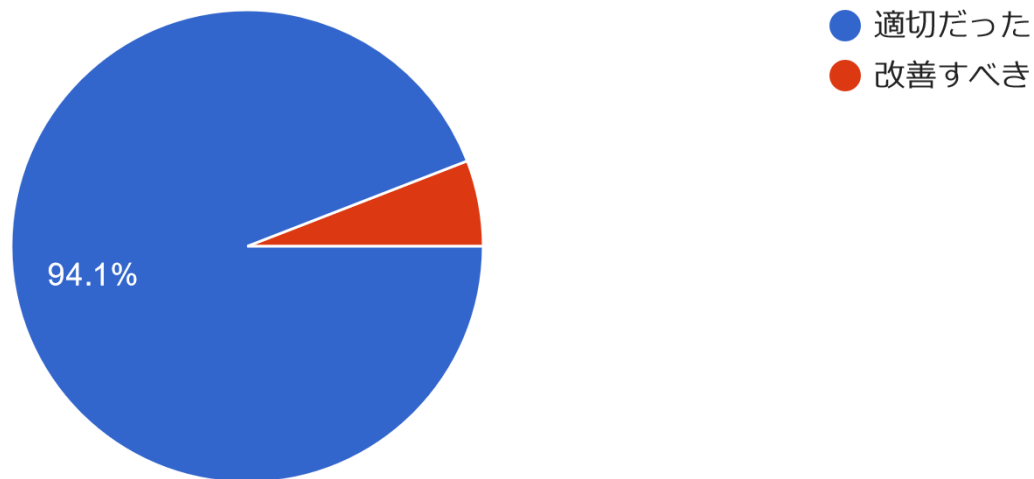
17件の回答



内容

TPT福島テクニカルセンターにおける感想について

見学の内容は
17件の回答



SPOTが動く様子を見てみたかったです。

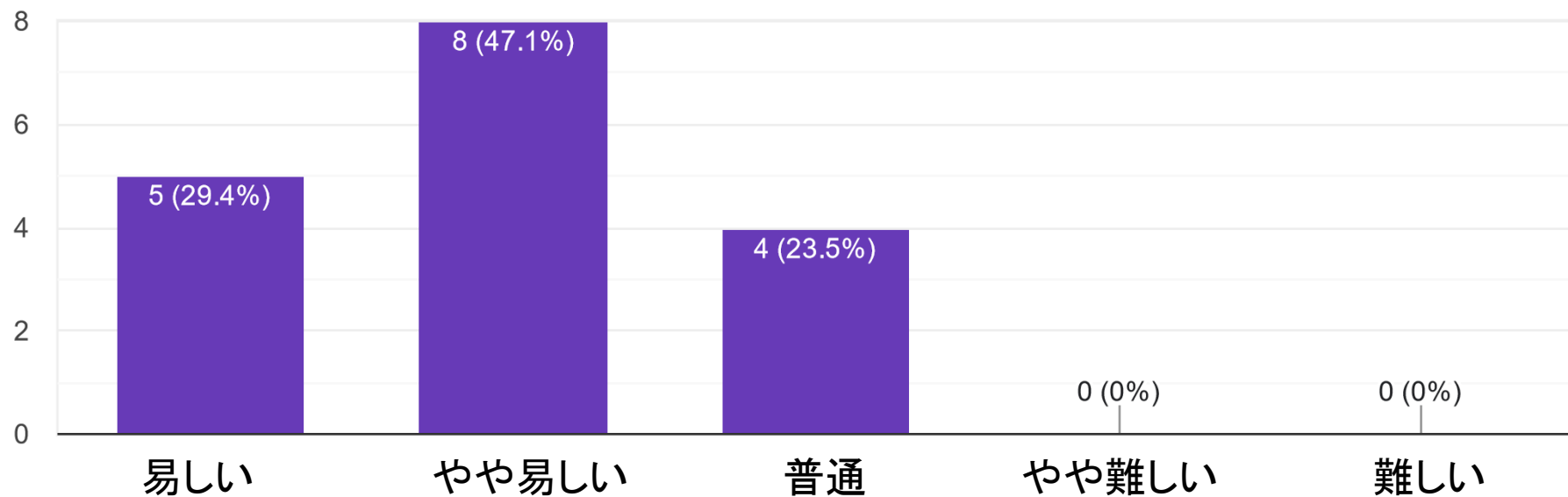


難易度

TPT福島テクニカルセンターにおける感想について

説明の難易度は

17件の回答

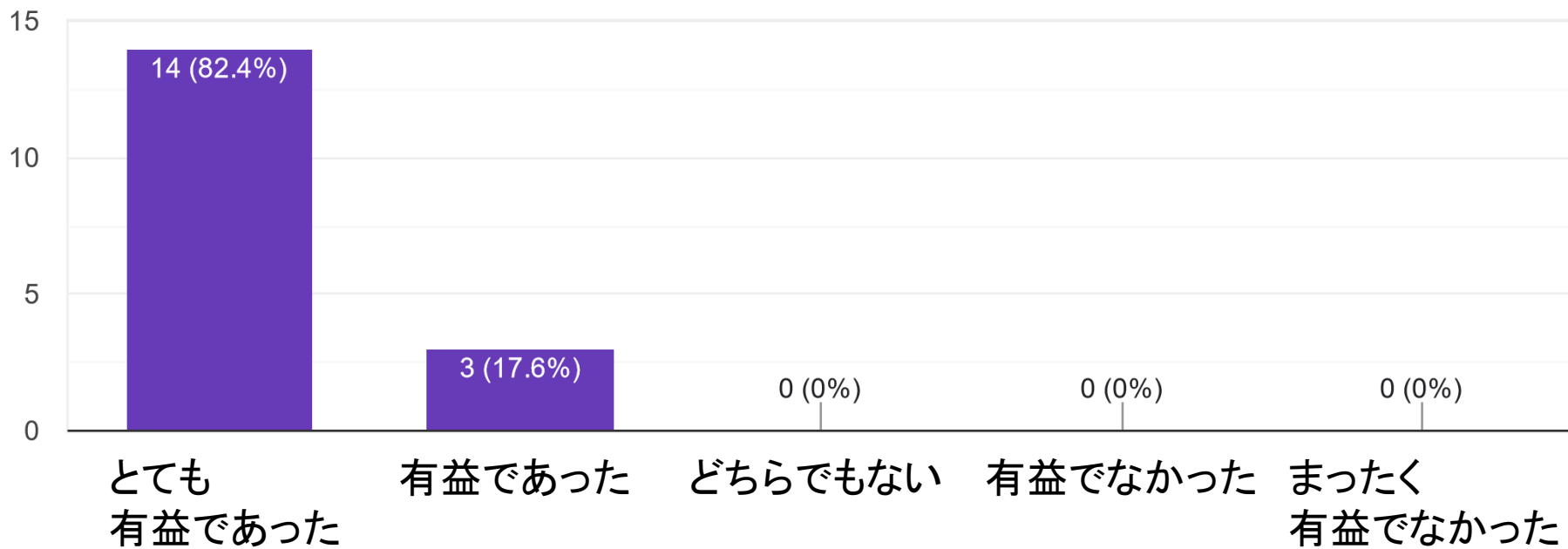


有益度

TPT福島テクニカルセンターにおける感想について

見学の有益度は

17件の回答

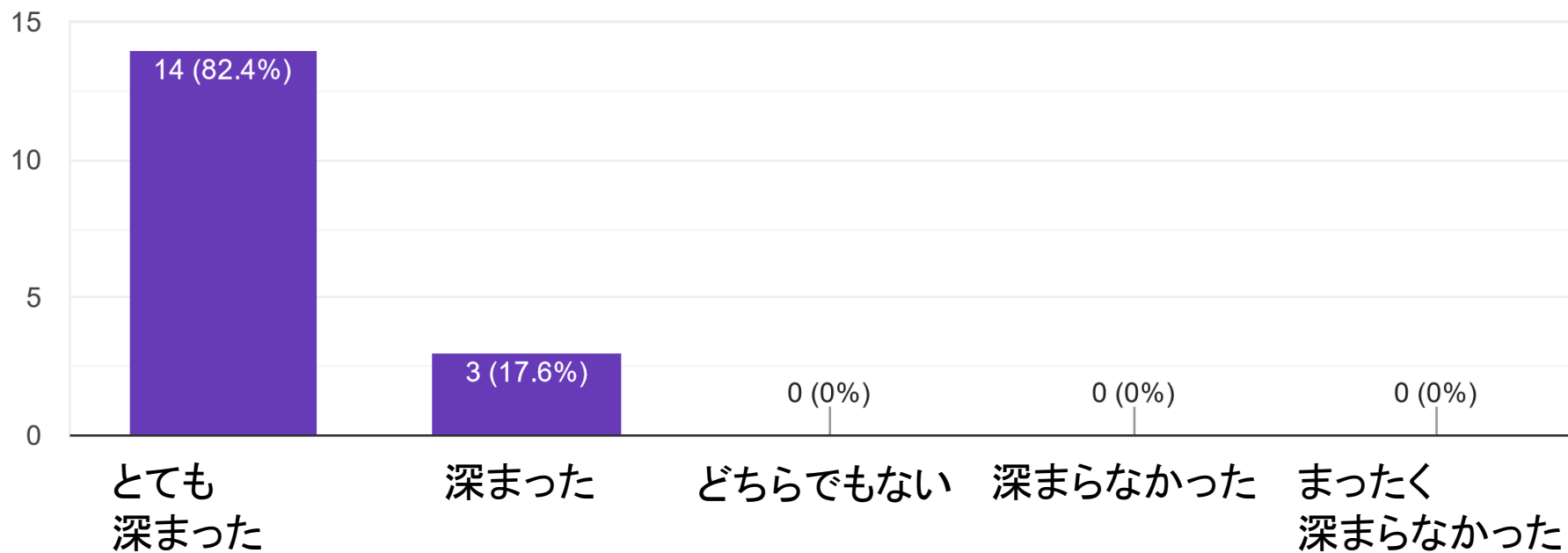


理解度

TPT福島テクニカルセンターにおける感想について

この見学に参加して、廃炉作業に向けた遠隔装置等に関する理解が深まりましたか？

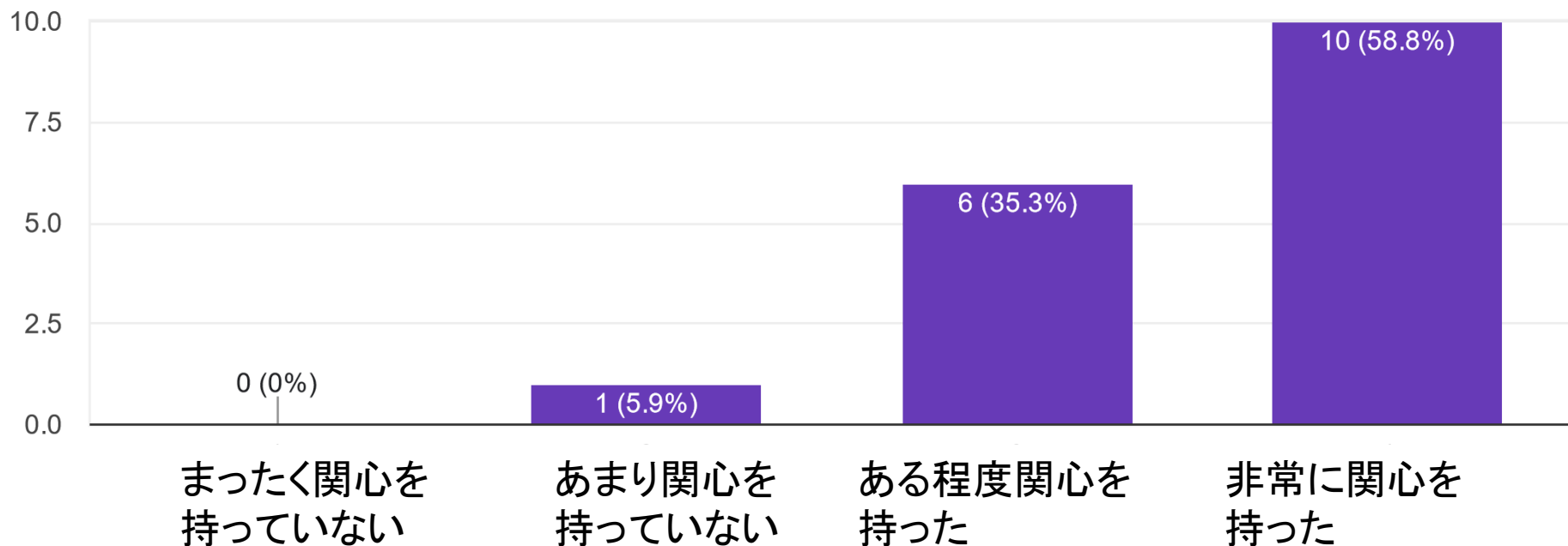
17件の回答



就職先としての関心度

就職先として、原子力・放射線分野に関心を持ちましたか？

17件の回答



感想、アドバイス、要望など(1)

福島第一原子力発電所の職場環境に対する率直な感想をお聞かせ下さい。

- 思った以上に和やかに感じた。
- セキュリティの厳重さは想像していたが、想像以上だった。また、至る所に標語やポスターがあり、作業意識の高さを感じた。
- 思っていたよりも良さげな環境なのだなと感じました。また、お話ししてくださった職員方の休日についてのお話も色々あって想像以上に様々な事ができるとしれたのでとても興味深かったです。また、打ち上がったヒラメを拾ってくる話が一番印象的でした。
- 装備など装着するものが多く大変。
- 廃炉作業に向けてどうして各号機ごとに形が違うのかであったり、地域対話に向けた裏話も含めお話できたことが非常に面白かった。沢山質問して当時の状況を聞くことができた
- 実際に職場環境を見学して、構内の設備はとてもきれいで、仕事するのに素晴らしいところだと思った。
- 過酷だと思った。被ばく低減の観点から、水分の接種ができないことを知り、単に線量率の問題だけではないのだと実感した。
- 安全を最重要に位置付けていると感じた。
- 見学を通して、現場で働く人の苦労についてTPT福島テクニカルセンターで実際に体験することでかんじることができた。現場で働くまでに、慎重に丁寧に作業を行う人のサポートを考えている職場環境であると感じた。



感想、アドバイス、要望など(2)

福島第一原子力発電所の職場環境に対する率直な感想をお聞かせ下さい。

- 施設も綺麗で、従業員の被爆管理等も徹底されており、職場環境に配慮された場所だと感じた。
- 協力企業含め社員のみなさんが誇りを持って充実して働いているように感じられた。現場の目安箱の回答から、制限区域内の設備で苦勞するところはありそうだと感じた。
- 管理区域内で水分補給ができない点がかなりネックになるのだと感じました
- セキュリティが非常に厳しくて、大変だなと思いました。管理区域内では水分補給ができないため、暑い夏の作業は大変なんだろうなと感じました。
- 夏場で作業着とマスクをつけたのでかなり暑く感じました。協力企業棟は冷房が効いていて快適でした。
- 廃炉作業が進められている中で、1号機から4号機が間近で見渡せる高台に一般服で立ち入ることができるという点に素直に驚いた。ほとんどの区域で防護服なしでの作業が可能になっている上、被ばく線量も厳格に管理されており、作業員・社員が安心して働ける環境が十分確保されていると実感した。
- 大熊町・富岡町の生活環境に対する率直な感想をお聞かせ下さい。



感想、アドバイス、要望など(3)

大熊町・富岡町の生活環境に対する率直な感想をお聞かせ下さい。

- 幌延町はあまりにも施設が少なすぎた一方、こちらは割と暮らしていける環境だと思った。
- どこの施設もとても綺麗だと感じた。米を筆頭として地域の食材を使おうという意識も感じられた。ところどころある瓦礫から被災の影響も感じた。
- 津波で流されてしまっているのかもしれませんが、正直なにもないところだと感じました。ですがいわきが車を走らせればそれなりに近くにあり、娯楽を楽しんだり、出会いの場を作ったりできるのでそこまで不自由はしないのではないかと思います。
- 店が少なく、少しだけ不便に感じた。
- 町全体の2-3割しか戻ってきていない悲しい現実が襲っている。災害関連死で2-3000人が亡くなっている現状、すぐにでも戻す課題と放射線との戦いが立ちはだかっている。これらを早急に解決、解消するのが課題であると同時に一端の責任全てを東京電力のみで解消させるべきというのではなく、国も加担して全力で解決させなければならないというのをひしひしと感じた。
- 大熊、富岡町的生活環境については、農業を営んでいる人や子供が施設で遊んでいるとことを見て徐々に元の生活に戻っていると感じた。



感想、アドバイス、要望など(4)

大熊町・富岡町の生活環境に対する率直な感想をお聞かせ下さい。

- 車があれば特に生活には困らない印象を覚えた。でも、至る所に線量率計があったり、国道沿いにもまだロープの張られた場所があったり、福島外の一般の方にはまだ憚られることも多いのかな、と思った。
- 商業施設や人気が少ないと感じられた。事故前を知らないのも何とも言えないが、復興を考えるなら、産業の育成等を考える必要があると感じた。
- 居住者よりも移住者が多く、買い物などが不便なのではないかと思った。
- 避難指示後の住居放棄された家が散見されたが、街や施設、道路等もすごく綺麗で新しい街だと感じた。
- どれだけの方が戻ってきているのかがあまり掴めなかったが、耕作放棄地や災害公営住宅の様子、減便されていると思われる常磐線なども含め生活再建の途上であると感じた。
- イメージしていたよりもしっかりとひとが住める地域なんだなと感じました。
- 自然豊かでご飯も美味しかったです。交通手段が少ないと感じました。
- 除染作業の進捗などに伴い、令和2年以降帰還困難区域が順に縮小されながらも、やはり今なお事故の影響が残っているのだなと感じた。その一方で、特定復興再生拠点を中心として、活気に満ちた地域も増えており、明るい希望を感じた。住民の帰還を進めるとともに、新たに居住する人を増やしていくためには、ハード面の復興だけでなく、産業の復興により雇用を創出し、住みやすい街をつくっていくことが何よりも重要であると感じた。



感想、アドバイス、要望など(5)

全体を通じた感想や本見学をよりよくするためのアドバイス、要望などに関する記述をお願いします

- 田中先生とのディスカッションやマニピュレーターの操作、1F付近のテラスまで行くといった体験の印象が強かった。時間管理は難しいと思うが、貴重な体験ができるプログラムがあると価値ある実習ができたと感じやすいと思う。
- 専門用語など多くでてきて理解しづらいところがあったのですが、原子力や放射線などについての知識を深めることができました。また、職員のお話を聞かせていただいて、以前よりもこの分野での仕事に興味を持ちました。大学の方々がたくさん質問しているのをみて、私も知識を深め、自分の考えをもち、職員の方々に意見を主張したり、質問できるようになりたいと思いました。今回の施設見学の専門的内容は、完璧に理解はできなかったものの強く印象に残りました。この3日間は、私にとってとても貴重な体験になりました。
- あと2日あっても足りないくらい内容の濃さでした。多種多様な大学の学生さん、医学部の方や博士課程の方も参加していたことに驚きました。今後もこういった活動は勧めるべきですし、伝える責任も原子力を学んでいる以上は絶対になくってはならない存在であるなど感じる事が出来たため、私の方でも早めに絵本の販売を出来るよう善処して参ります。3日目のCLADSの説明をもう少しゆっくり行なって貰いたかった点、東電パワーテクノロジーももう少し詳しく見てみたかったです。また今回の開催に際し、ANEC事務局様、中島先生、田中先生並びに他の協力企業様に御礼申し上げます。



感想、アドバイス、要望など(6)

全体を通じた感想や本見学をよりよくするためのアドバイス、要望などに関する記述をお願いします

- 普段は入る事ができない施設や第一原子力発電所を見学、体験する事ができてとても貴重な経験になり、これからの人生における選択の1つとすることができました。ありがとうございました。
- 見学時間や質問時間をもう少し増やしてくださると良かったです。少し、駆け足で見学したところがあるので、
- 普段は話せないような方々と議論でき、どんな質問にも答えていただけて、満足度の高い研修でした、ありがとうございました。勝手に、原子力に関する知識を少しは有している方向けの見学会と認識していたのですが、色々な分野の方がいて、1Fを伝えていく上で効果的だと感じました。つきましては、今後も色々な分野から参加ができるよう、情報発信を頑張っていたいただきたいと思います。
- 廃炉作業関連施設を見学することで、廃炉について理解が深まった。1日目の田中氏の講演の中で科学的説明を繰り返して住民の人に理解してもらうことが大切とあり、今一度人に伝えるという事について考えることができた。伝えられる人の気持ちを考慮し、言葉を慎重に選ぶことが大切だということを見学を通して感じた。また、宿泊した富岡町について少し調べてから見学をしておけばよかったと思った。



感想、アドバイス、要望など(7)

全体を通じた感想や本見学をよりよくするためのアドバイス、要望などに関する記述をお願いします

- 専門外の領域が多い分、事前の勉強にはかなり気を使ったが、それでも難しく感じる部分は多々あった。一方で、全体と個別の試みを体系的に理解し、また実際に廃止措置に携わっている方々がどのように考え、見通しを持ち、他業界との関わりも含めて真摯に取り組んでいることを、その現場で体感することができ、有意義だった。周辺学問を含めて、もう少しこうした取り組みの裾野が広がるような方向性も期待したい。
- 名札のアイデアはとても良かったです
- 西日本の人間なので福島がどうなっているのか、今どのようなことが進んでいるのかが体感としていまいちよくわかっていなかったのですが、実際に現場の様子を見ることによって、廃止措置の現状とこれからの展望についての考えを深めることができました。このような機会があって本当によかったです。ありがとうございました。
- 自分の意見や考えを持って見学に望み、第一線で活躍する社会人や参加学生と議論することで課題に対する理解が深まるので事前学習や見学の中で自分はどう思ったのかを大切にすると見学がより良いものになると思います。



感想、アドバイス、要望など(8)

全体を通じた感想や本見学をよりよくするためのアドバイス、要望などに関する記述をお願いします

- 事故の概要や復興の現状を改めて調べてから今回の見学会に臨んだが、自分の目で見るほど大切なものはないと感じた。様々な分野で多くの人が福島復興のために尽力されていることを身を以って実感したし、復興はまだまだ道半ばでありながらも、決して不可能ではないのだと改めて感じた。各々で行っていた部分はあったが、初日に参加者同士の自己紹介や交流ができればよかったと思った。また、時間的な制約もあり致し方ないと思うが、3日目のJAEA関係施設の見学はバタバタしてしまったため、もう少しゆっくり見学できたら良かったと感じた。3日間にわたって大変貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

